高等部の自立活動

高等部では、教育活動全体で行っている自立活動の他、各学年・学科でそれぞれ週に１時間、時間における指導を実施しています。時間における指導では、生徒一人一人の目標を踏まえたグルーピングを行い、各学年・学科ごとに複数のグループに分かれて授業を実施しています。

ここでは、その中から幾つかのグループの授業の様子についてお伝えします。

このグループは、言葉が不明瞭だったり、早口だったりして話をしても相手に伝わりにくい生徒や、他者の話を注意して聞くことが苦手な生徒が学習しています。

写真は、伝言ゲームをしている様子です。「ゆっくり、はっきり」話すこと、相手の話に注意を向けることをゲームを通して楽しく学習しています。

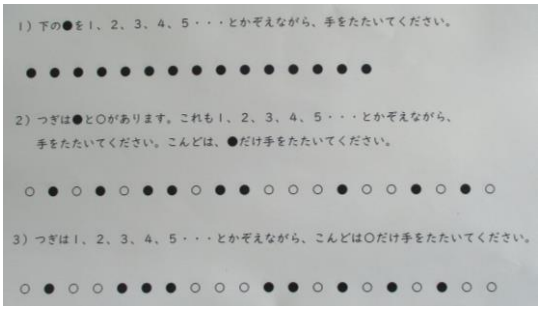
このグループは、手元を見ずにいろいろな動作をする生徒、見続けることが苦手で集中が途切れやすい生徒、整理整頓が苦手な生徒が学習しています。

生徒の興味のあるものを教材に活かすことで、注目しようとする気持ちを高め、パズルや一対一対応の課題などに取り組んでいます。

大好きな芸能人の写真を舞台に一つずつ対応させて置く課題

大好きなコーヒーショップの切片パズル

このグループは、指示を理解して取り組むことが苦手な生徒、苦手だ、やりたくないと感じると活動に消極的になる生徒が学習しています。

教師に提示された情報を記憶したり衝動をコントロールしたりする課題の印象を５段階で表します。取り組んだ後に振り返りをし、難しいと思ったことも、取り組んでみると意外とできること、楽しいことを実感することで、意欲的に取り組んでいます。

●や○を数えながら、指示に従って手をたたく課題